令和７年度黒部市地域クラブ活動アンケート調査結果

対象者：令和７年度地域クラブ活動対象部活動、クラブチームに所属する生徒・顧問・保護者・指導者

対象：黒部市地域クラブ活動、クラブチーム対象部活動生徒（１～3年）
回答：281名
実施時期：Ｒ７年12月

アンケート種目別回答結果(生徒)

活動時間

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない
アーチェリー	1	4	0	0
ソフトテニス	21	20	3	1
バドミントン	29	30	3	0
剣道	8	14	1	0
柔道	6	6	2	0
女子バスケットボール	2	4	0	0
女子バレーボール	6	4	2	0
卓球	0	5	0	0
男子バスケットボール	3	4	0	0
陸上競技	19	10	1	0
軟式野球	10	5	0	0
	105	106	12	1

地域クラブ活動(休日の活動)が、技術向上や意欲向上につながっていますか。

	つながっている	つながっていない	わからない
アーチェリー	5	0	0
ソフトテニス	43	0	2
バドミントン	55	2	5
剣道	19	0	4
柔道	11	0	3
女子バスケットボール	4	0	2
女子バレーボール	12	0	0
卓球	4	0	1
男子バスケットボール	5	0	2
陸上競技	28	0	2
軟式野球	15	0	0
	201	2	21

中学校卒業後もスポーツを続けたいと思いますか

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
アーチェリー	4	1	0	0
ソフトテニス	25	15	4	1
バドミントン	39	17	5	1
剣道	9	10	1	3
柔道	8	4	1	1
女子バスケットボール	0	5	1	0
女子バレーボール	10	2	0	0
卓球	4	1	0	0
男子バスケットボール	6	1	0	0
陸上競技	25	5	0	0
軟式野球	15	0	0	0
	145	61	12	6

指導内容

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない
アーチェリー	3	2	0	0
ソフトテニス	17	26	2	0
バドミントン	28	25	9	0
剣道	13	8	2	0
柔道	6	5	3	0
女子バスケットボール	1	4	1	0
女子バレーボール	8	4	0	0
卓球	1	4	0	0
男子バスケットボール	4	3	0	0
陸上競技	18	11	1	0
軟式野球	13	2	0	0
	112	94	18	0

現在、競技によって日数が異なっていますが、休日の活動日数についてどう思いますか。

	日数を増やしてほしい	ちょうどよい	日数を減らしてほしい
アーチェリー	1	4	0
ソフトテニス	13	32	0
バドミントン	11	38	13
剣道	2	21	0
柔道	2	11	1
女子バスケットボール	0	6	0
女子バレーボール	3	9	0
卓球	2	3	0
男子バスケットボール	2	5	0
陸上競技	5	24	1
軟式野球	3	12	0
	44	165	15

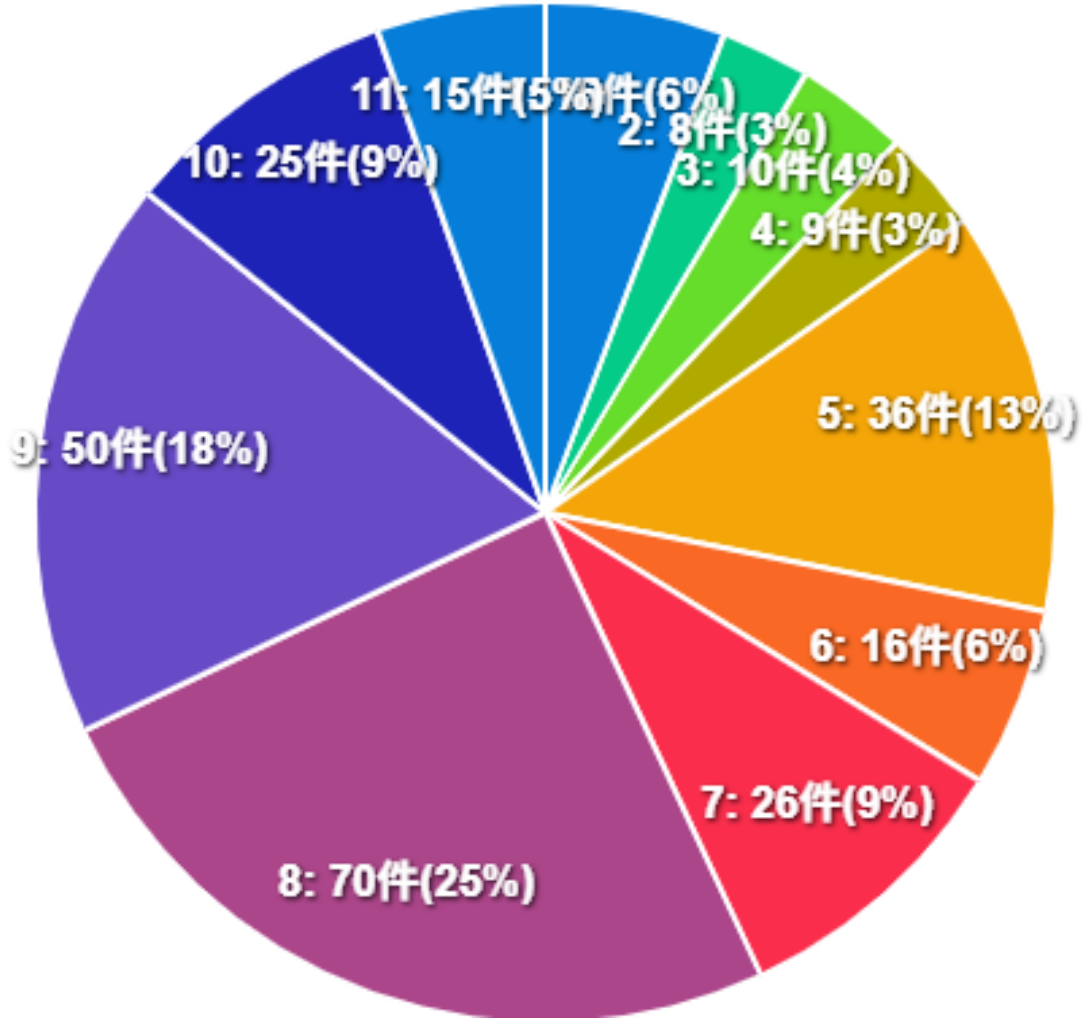
活動全般

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない
アーチェリー	2	3	0	0
ソフトテニス	20	23	2	0
バドミントン	26	32	4	0
剣道	10	10	2	1
柔道	8	4	2	0
女子バスケットボール	0	5	1	0
女子バレーボール	7	4	1	0
卓球	0	5	0	0
男子バスケットボール	3	4	0	0
陸上競技	17	12	1	0
軟式野球	12	3	0	0
	105	105	13	1

地域の指導者に平日も教わりたいと思いますか

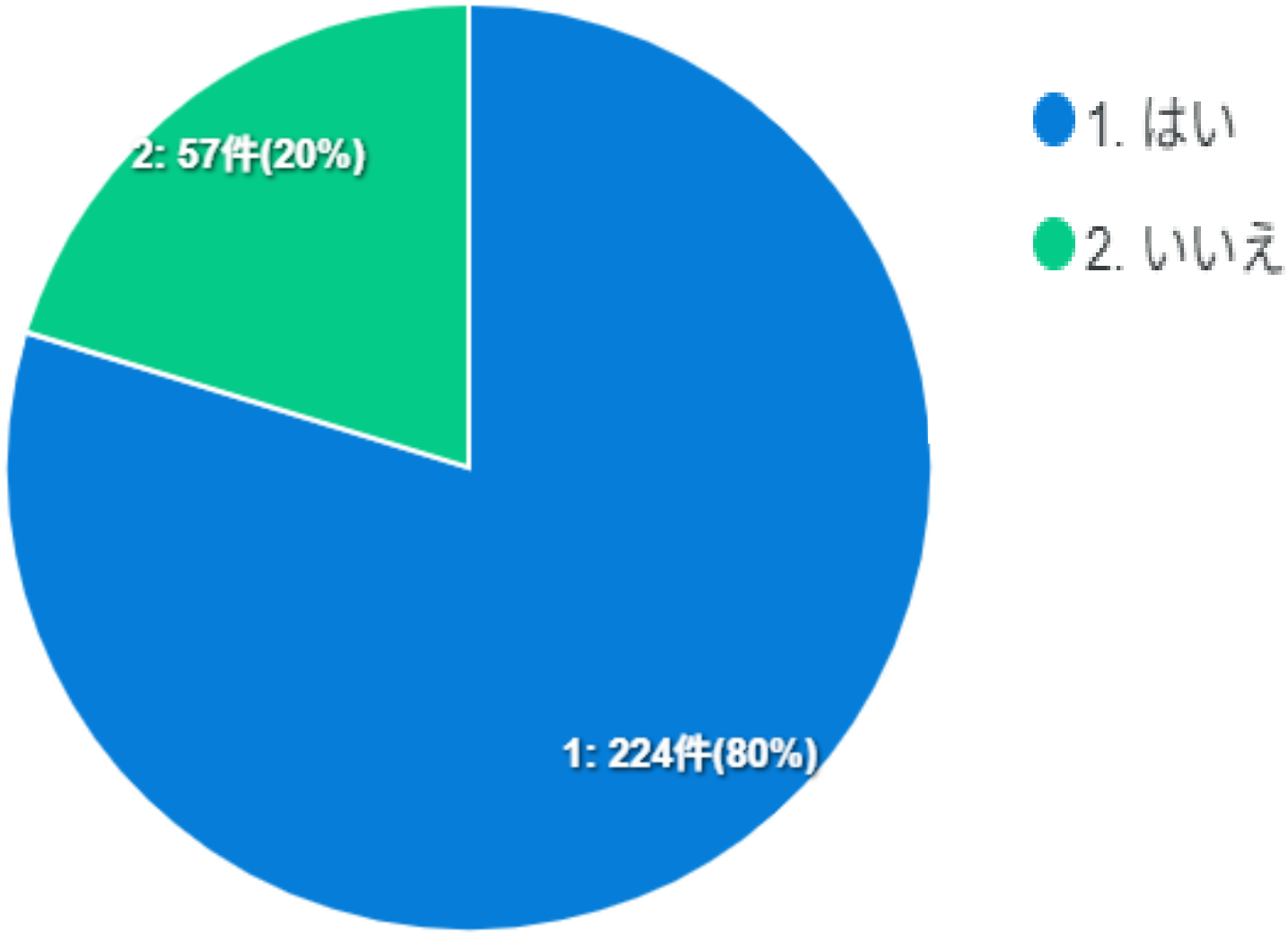
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
アーチェリー	4	1	0	0
ソフトテニス	14	12	15	4
バドミントン	22	24	10	6
剣道	12	6	3	2
柔道	8	3	2	1
女子バスケットボール	1	3	2	0
女子バレーボール	9	1	1	1
卓球	1	2	1	1
男子バスケットボール	5	1	0	1
陸上競技	14	5	7	4
軟式野球	13	1	1	0
	103	59	42	20

1．あなたの参加する学校部活動を教えてください。

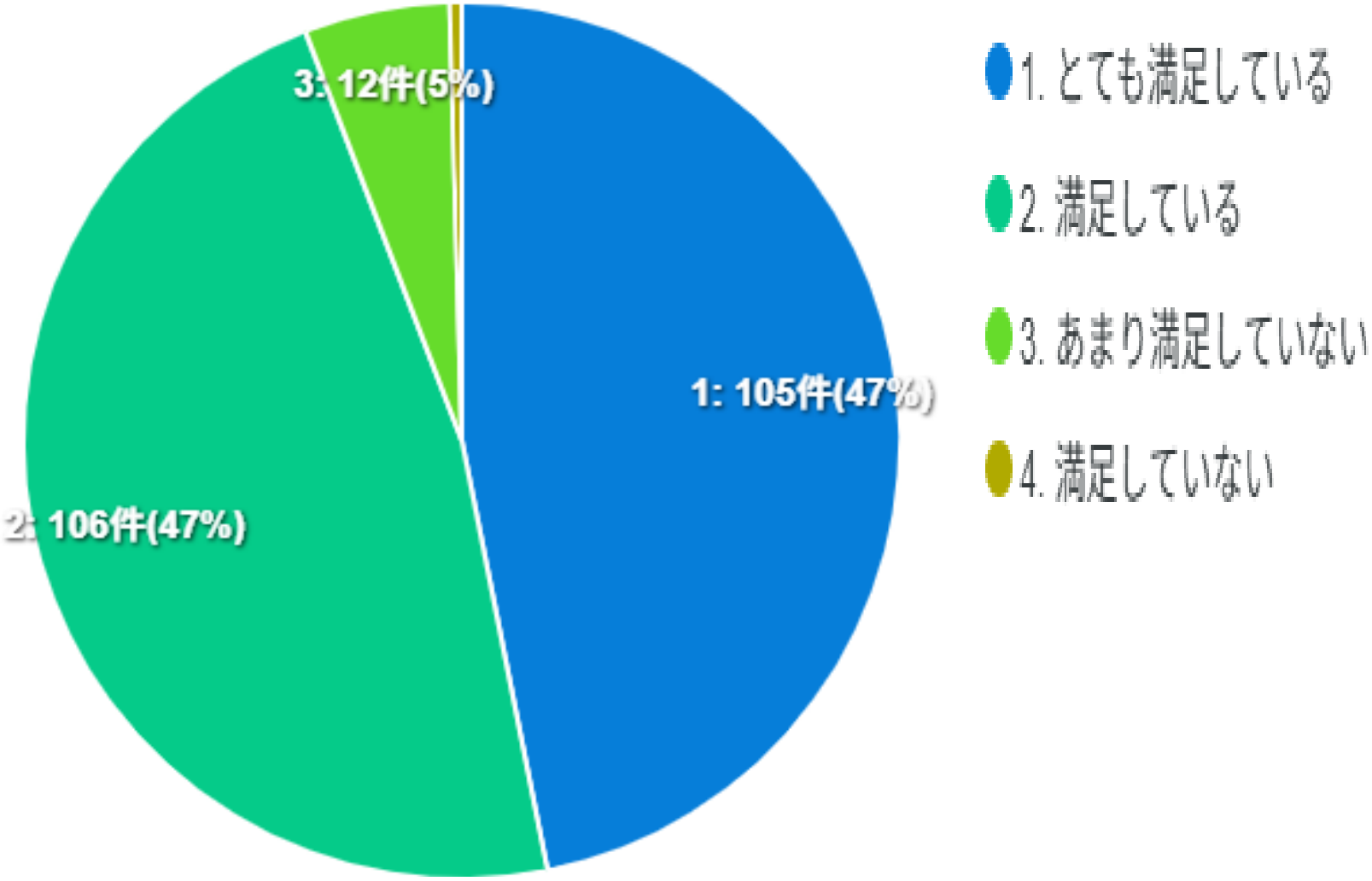


1. 女子バレーボール	16
2. 男子バスケットボール	8
3. 女子バスケットボール	10
4. アーチェリー	9
5. 陸上競技	36
6. 柔道	16
7. 剣道	26
8. バドミントン	70
9. ソフトテニス	50
10. 卓球	25
11. 軟式野球	15

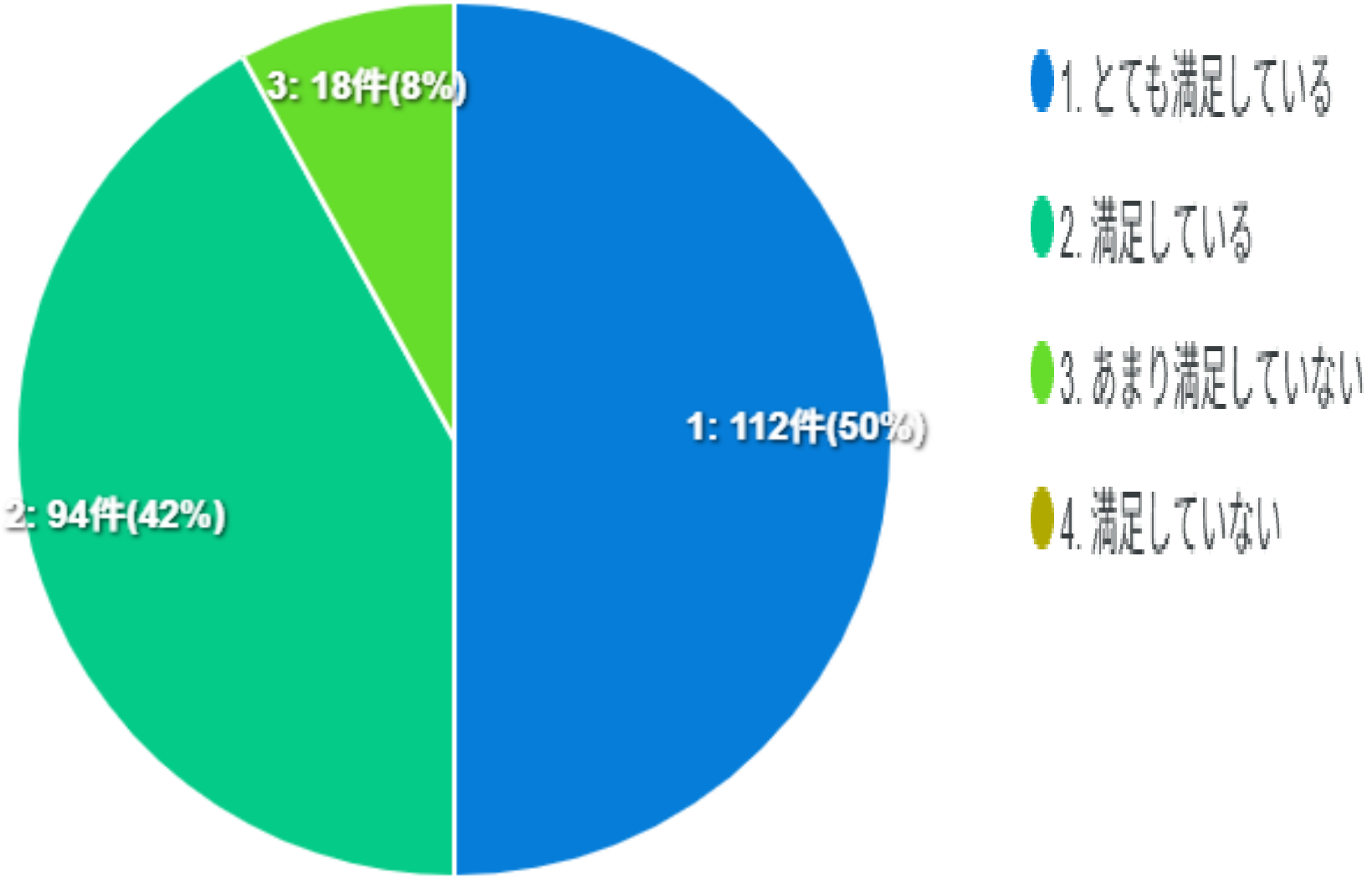
2. 地域クラブ活動(休日の活動)に参加していますか？



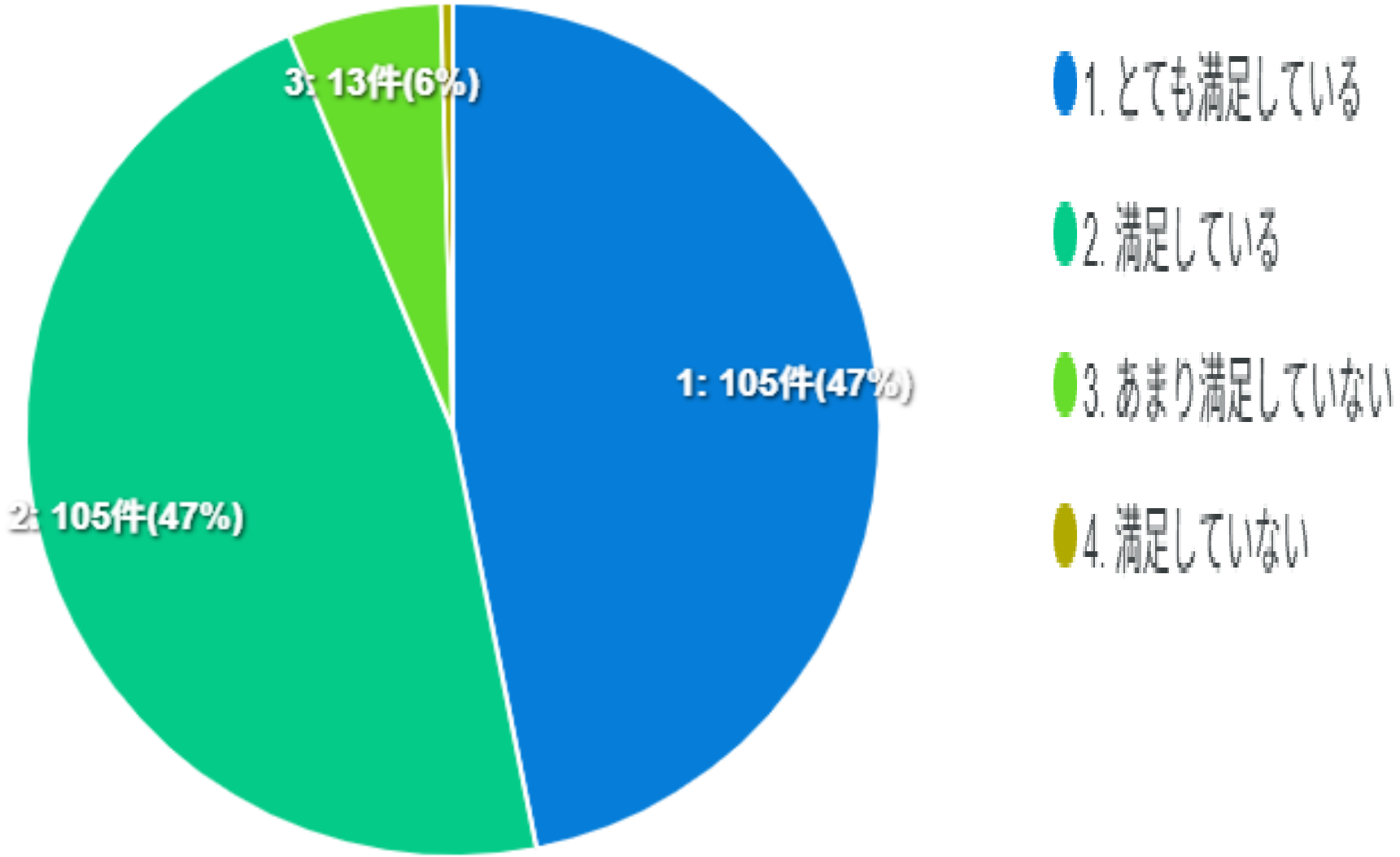
(1) 活動時間


3: 12件(5%)
1: 105件(47%)
2: 106件(47%)
1. とても満足している
2. 満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

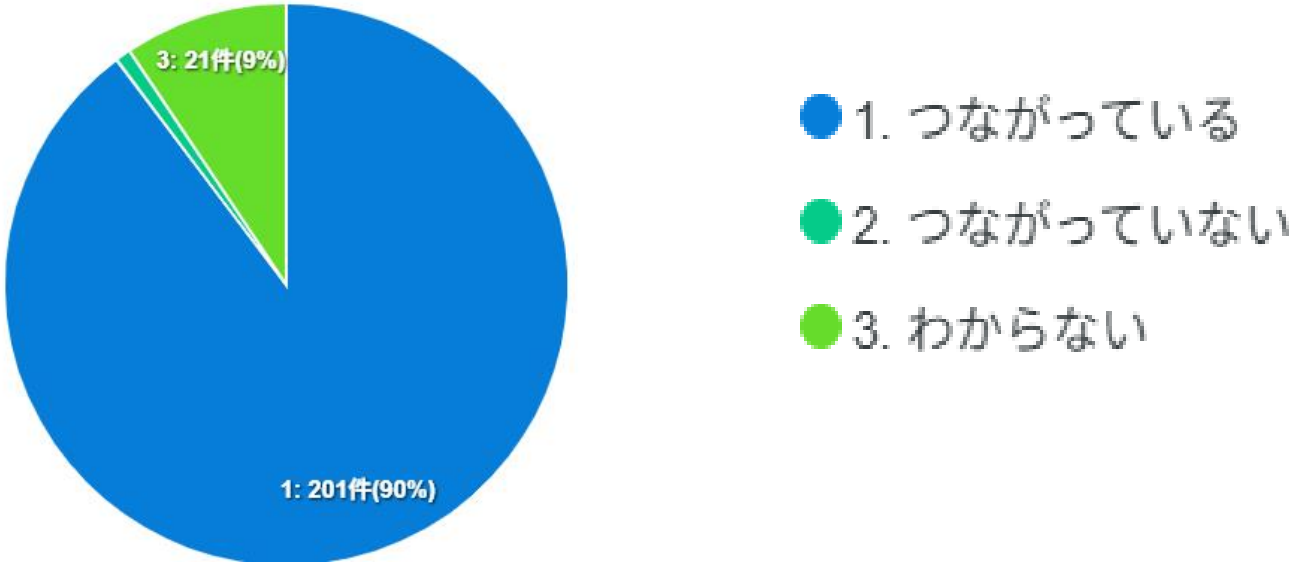
(2) 指導内容


3: 18件(8%)
1: 112件(50%)
2: 94件(42%)
1. とても満足している
2. 満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

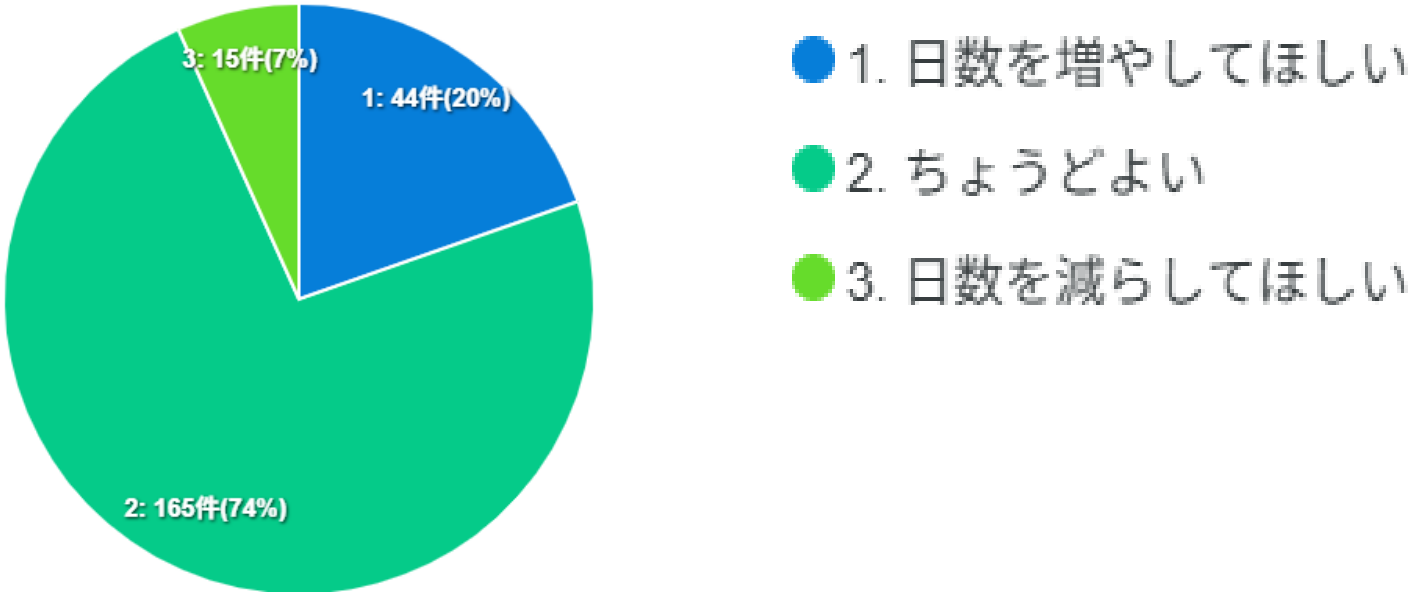
(3) 活動全般


1: 105件(47%)
2: 105件(47%)
3: 13件(6%)
1. とても満足している
2. 満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

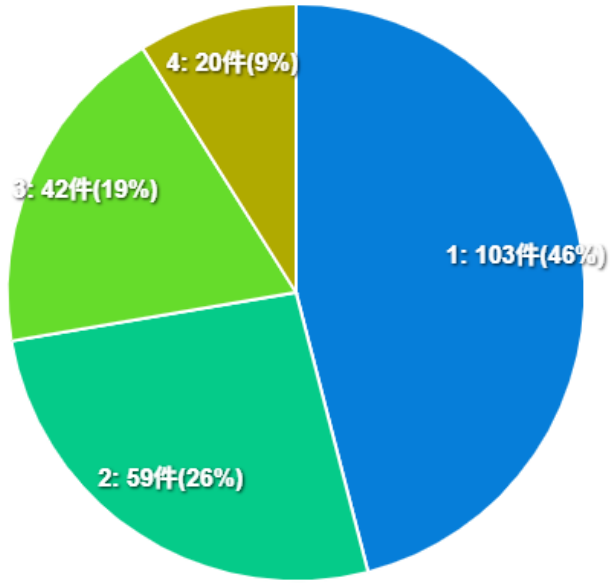
4．地域クラブ活動（休日の活動）が、技術向上や意欲向上につながっていますか。



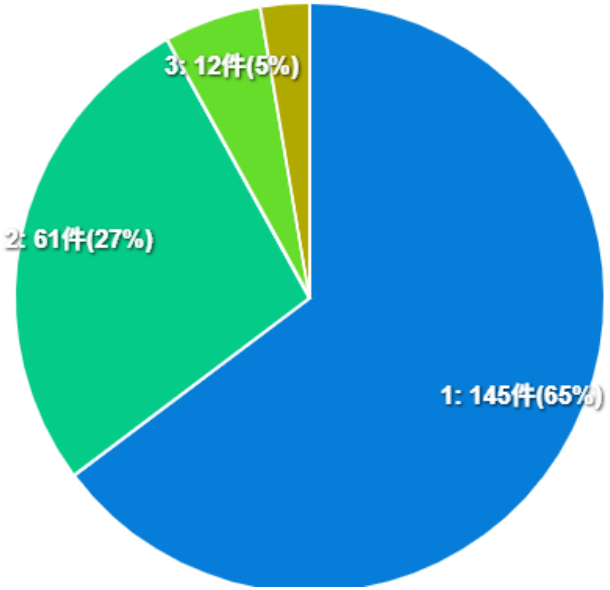
5．現在、競技によって日数が異なっていますが、休日の活動日数についてどう思いますか。



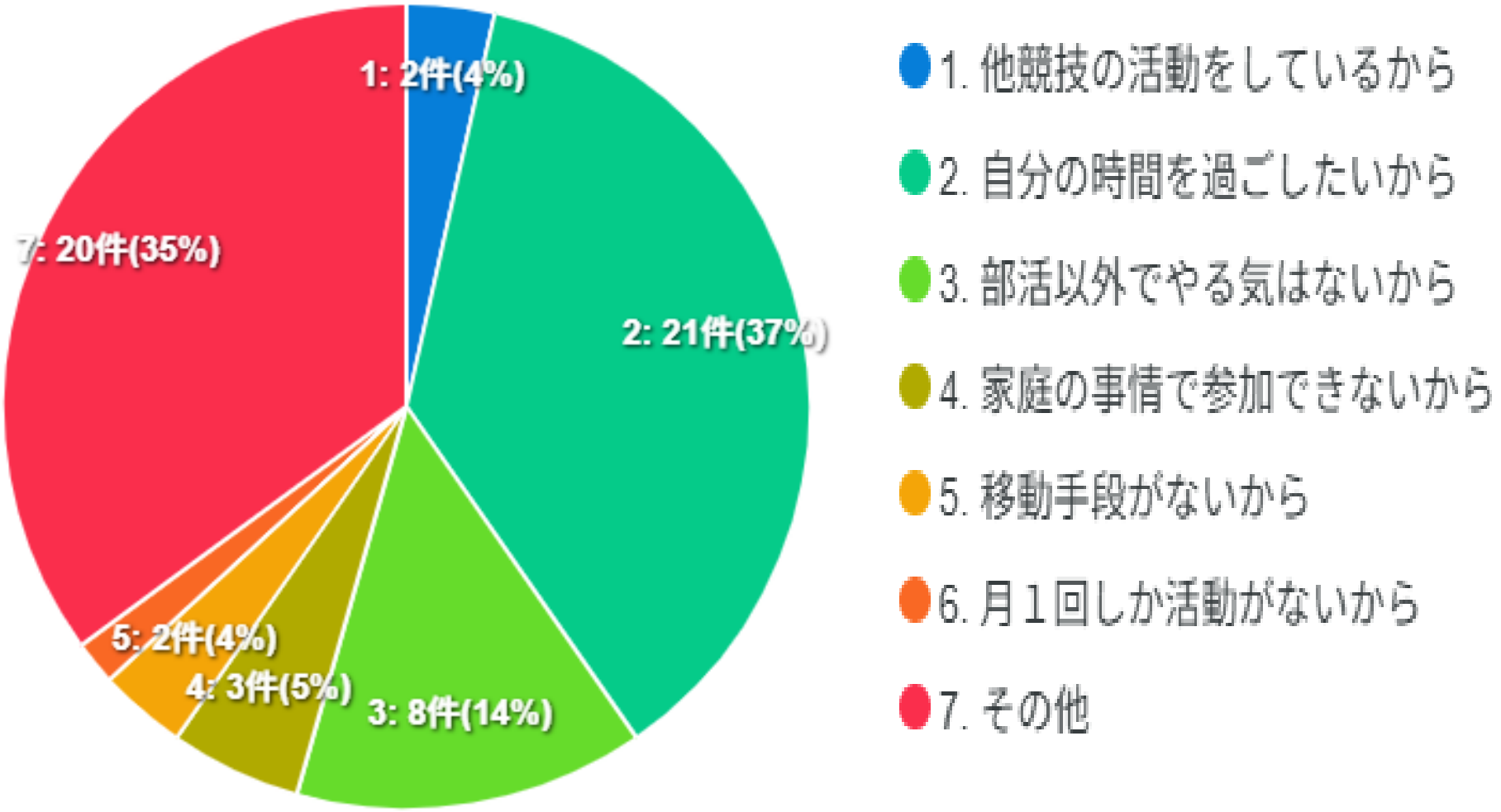
6．地域の指導者に平日も教わりたいと思いますか



7．中学校卒業後もスポーツを継続したいと思いますか

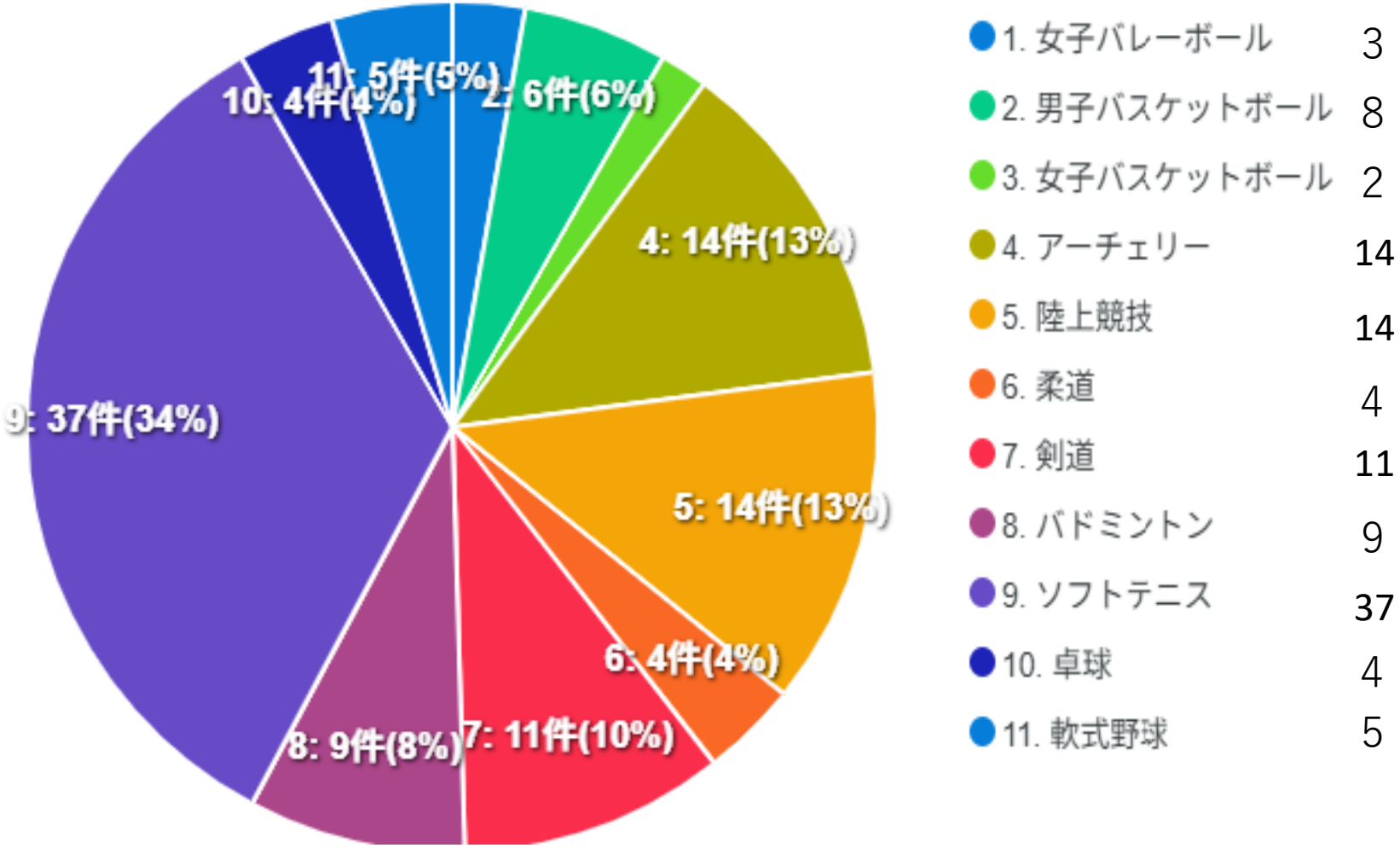


【2で「いいえ」と答えた方】その理由を教えてください。

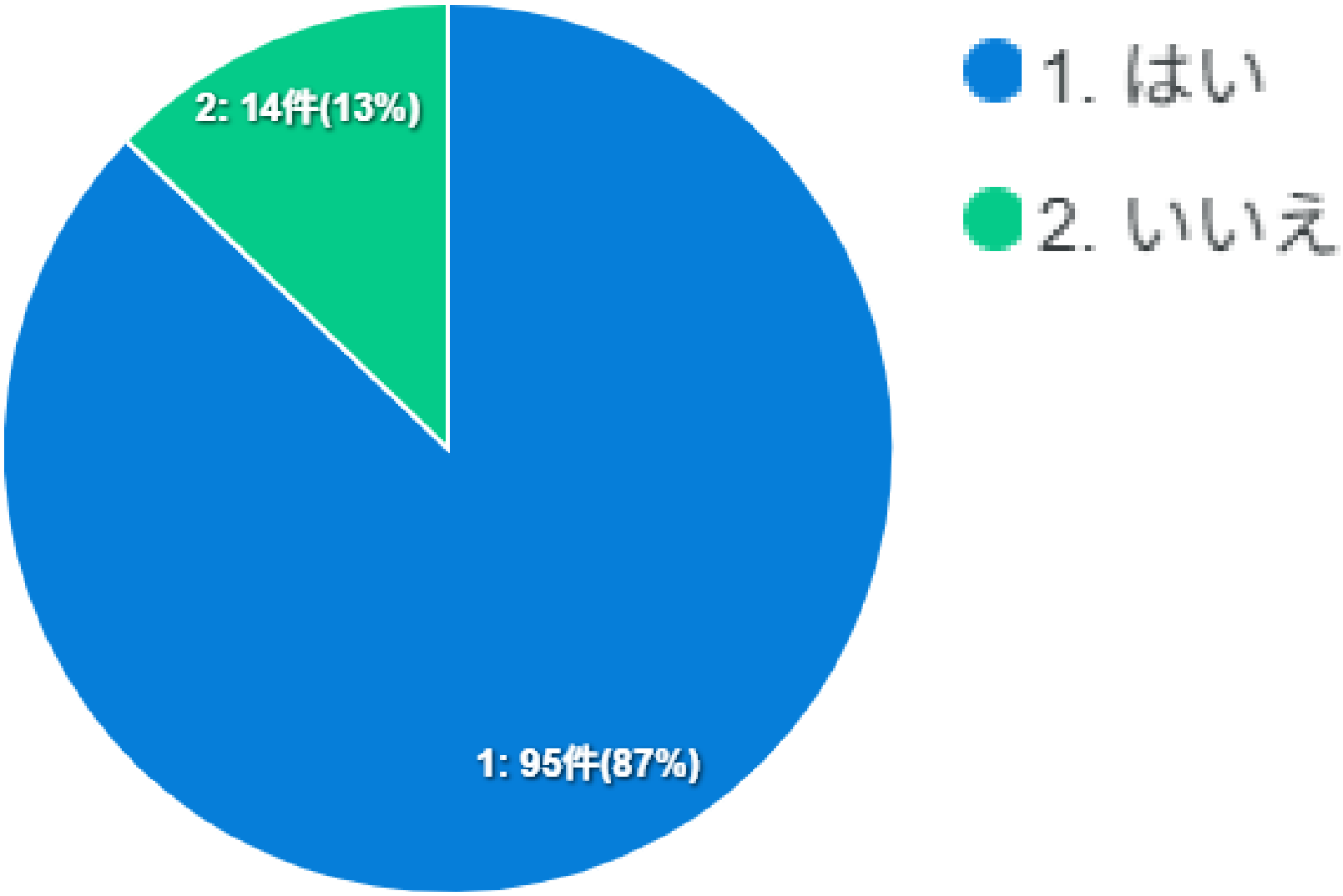


対象：黒部市地域クラブ活動対象部活動、クラブチーム生徒保護者
回答：109名
実施時期：Ｒ７年12月

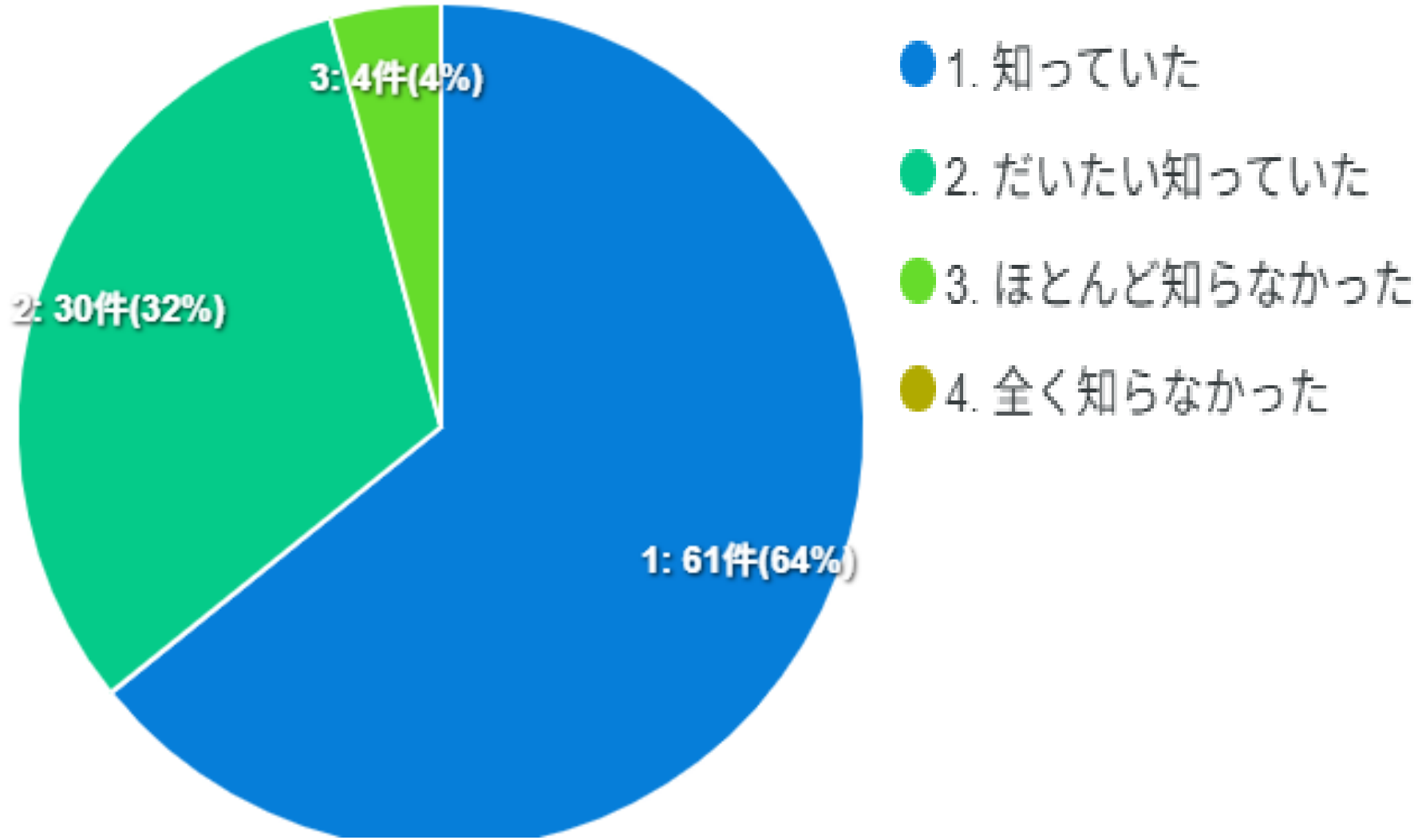
1. お子様の参加する学校部活動



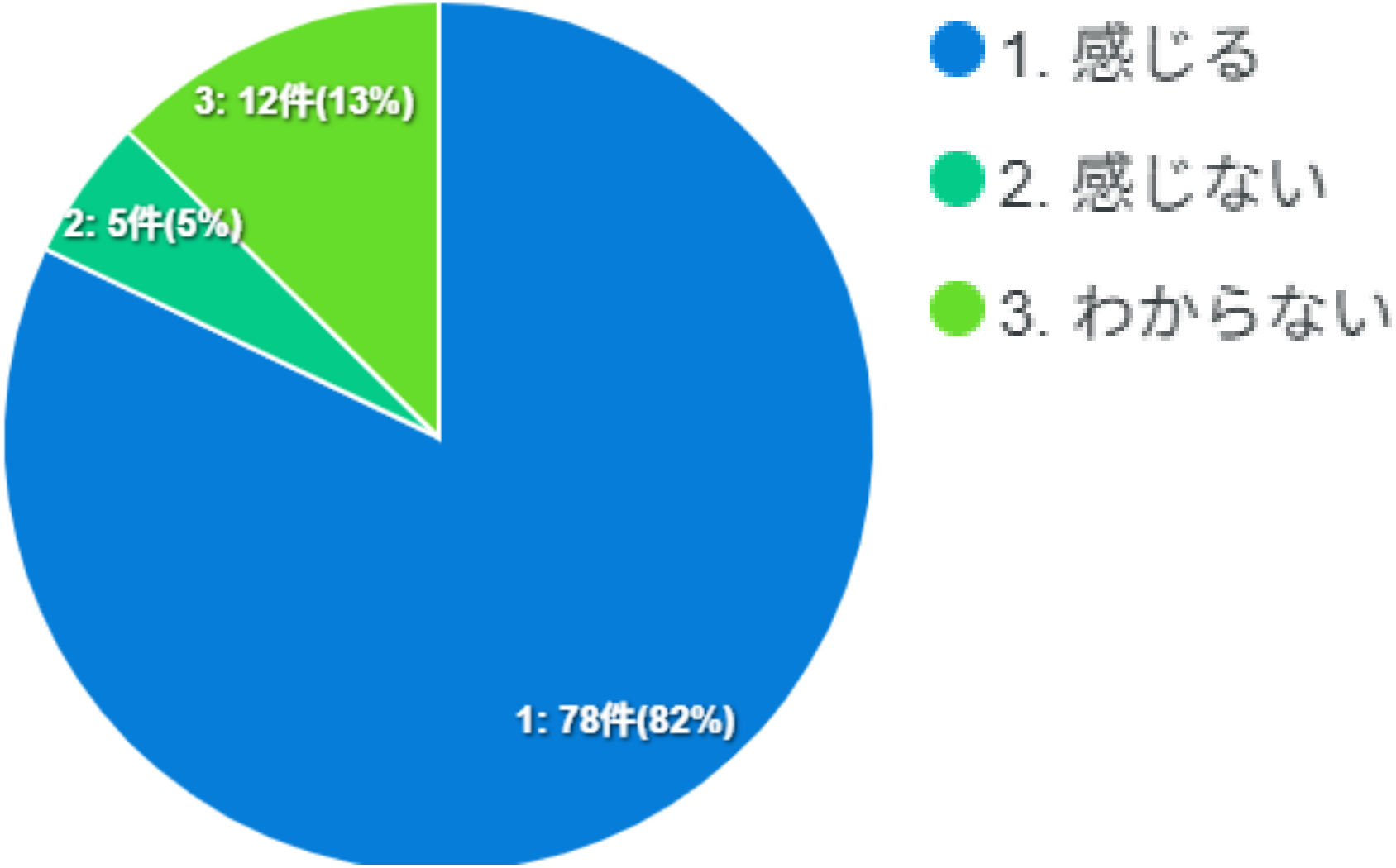
2. 地域クラブ活動(休日の活動)に参加していますか？



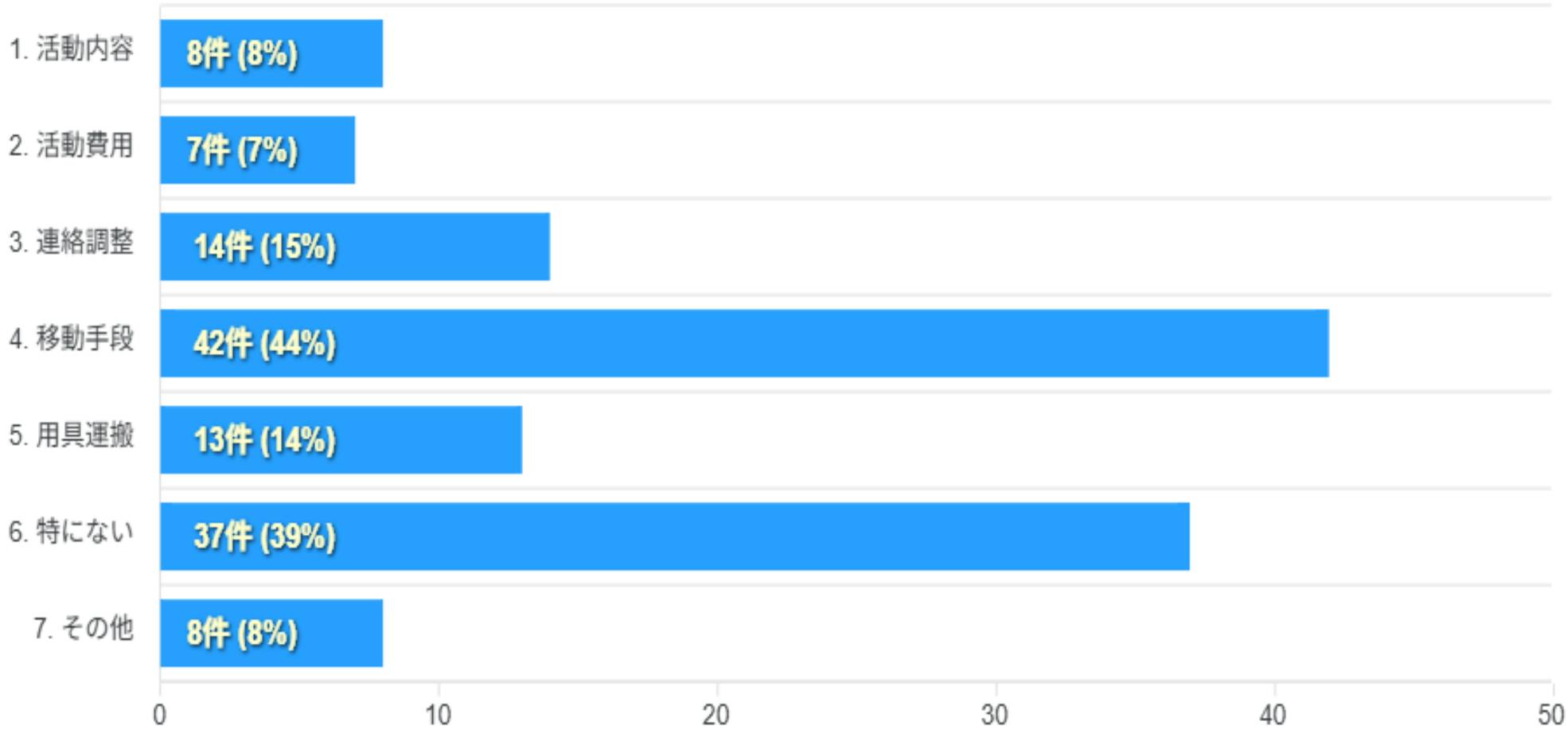
3．上記の主旨のもと行われている「地域クラブ活動」の取り組みをご存じでしたか。



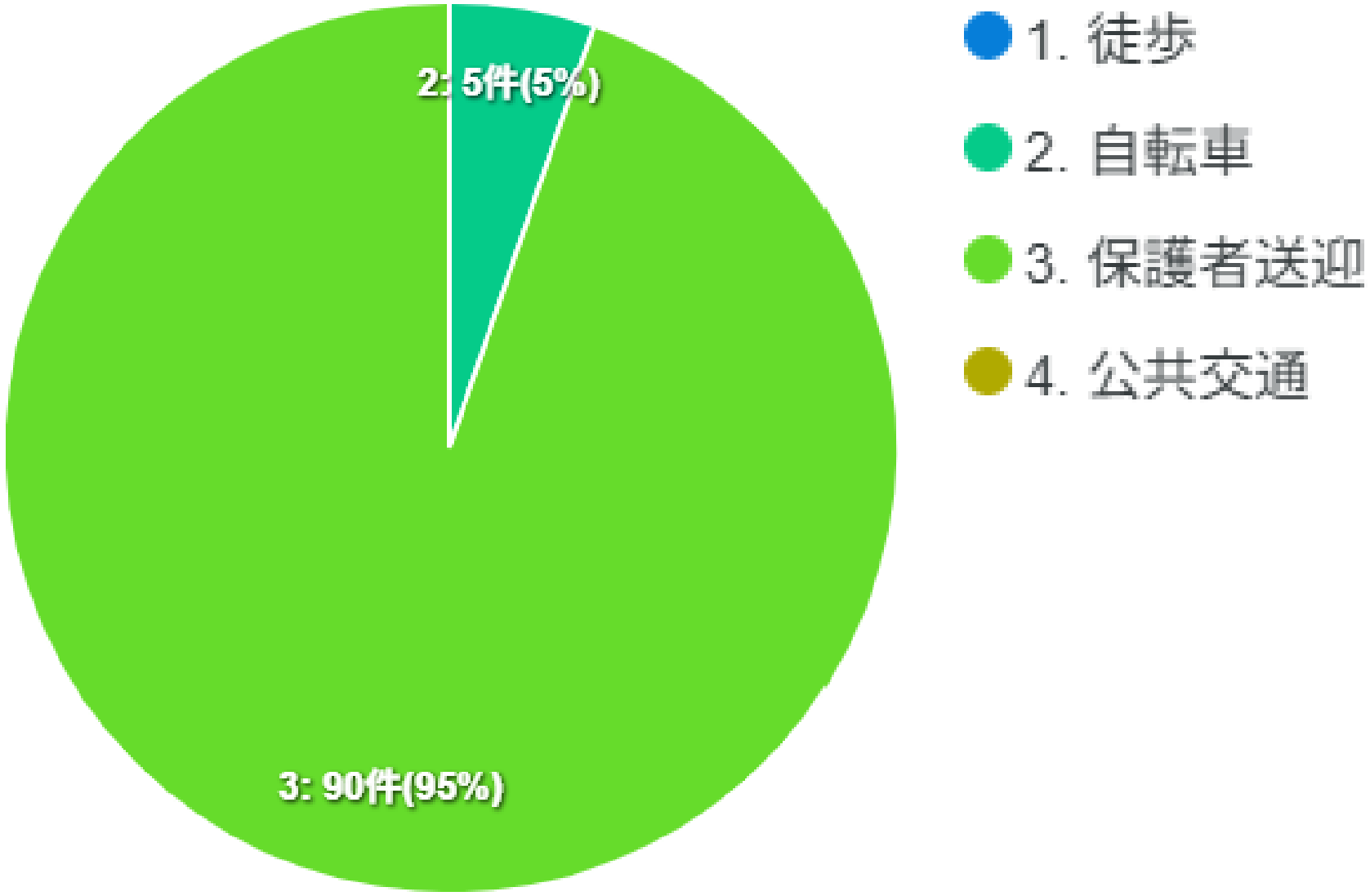
4. 地域クラブ活動（土日の活動）がお子様の技術意欲向上、またスポーツ活動を通した成長につながっていると感じますか。



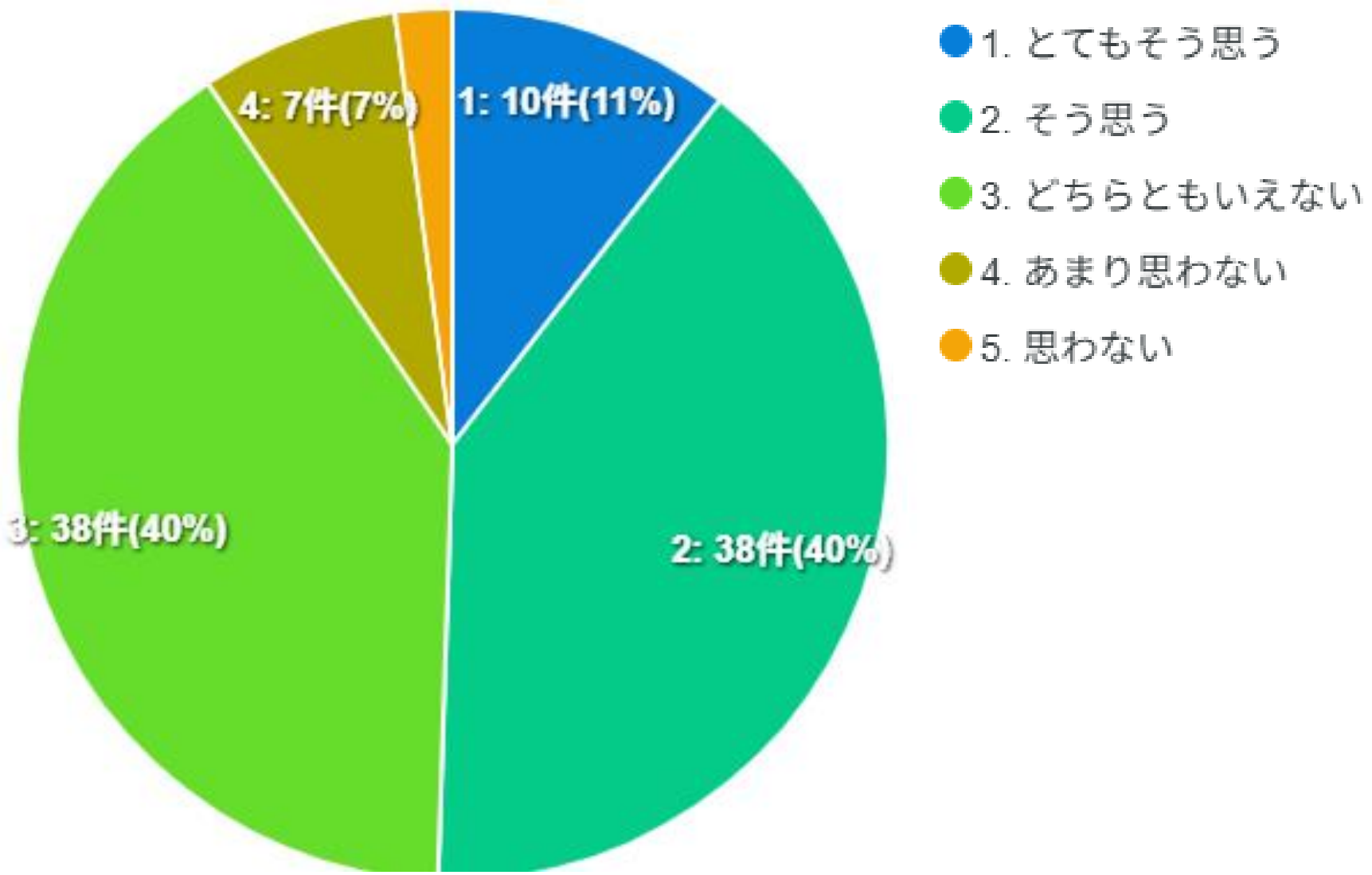
5. 負担に感じることや改善してほしいことがあれば以下から選んでください (複数回答可)



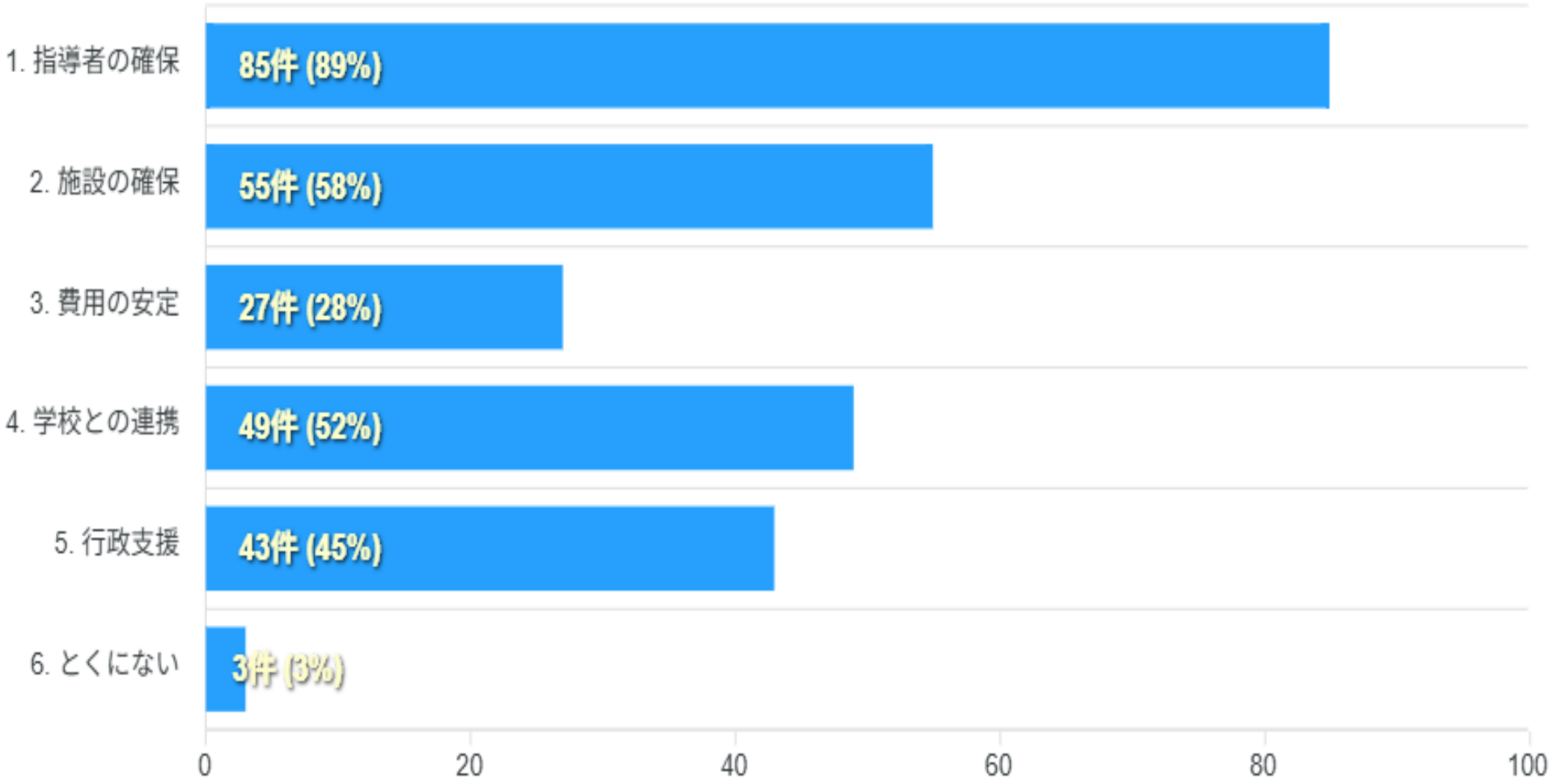
6. 地域クラブ活動（土日の活動）の主な移動手段について教えてください



7，地域クラブ活動は、今後も安定して継続できる仕組みだと思いますか？



8，地域クラブ活動が長期的に続くためには、何が必要だと思いますか？（複数回答可）



☆保護者の意見（抜粋）①

４，地域クラブ活動（土日の活動）がお子様の技術意欲向上、またスポーツ活動を通した成長につながっていると感じますか。の回答理由　（〇：感じる　△：わからない　×：感じない）

〇学校での部活動の時間はとても短く、また部員数に対して練習場所の広さも十分とはいえず、本気で取り組みたい子には物足りないと感じます。休日の地域部活動は自主性が問われるので、やる気のある子しか残りません。それはより質の高い練習や仲間同士の切磋琢磨に繋がり、各人の技術の向上に必要だと思います。

〇経験のあるコーチ陣を中心に技術の向上だけでなく、あいさつ、目上の方へとの関わり方についても日々学んでいます。

〇部活だけでは時間が足りない。学校以外の参加者もおり、意欲が高まる。学校顧問が忙しい時も外部コーチが指導してくれる

〇２つの学校が一緒に練習をしているので良い刺激をもらっているように思います。練習はもちろん先輩や同級生との交流も楽しんでいるように思います。

△単純に技術的な面では成長を感じますが、指導者と市との考え方、保護者との意思疎通が出来ていないことを鑑みて判断しました。

×学校での部活動は積極的に取り組み、心身の成長につながっていると感じますが、地域型で指導してくださるコーチがたびたびパワハラとも感じられる発言をされるようで、落ち込み、やる気をなくして帰ってくることがあります。遠征に行かなければ試合に出さない、と言われることもあるようです。
今の子どもたちにとって部活動は、必ずしも競技力向上が第一というわけではないので（本当に強くなりたい子はクラブチームに参加している）、そこに指導者とのギャップがあるようにも感じます。
もちろん競技力向上、そして試合に勝つことは大きなモチベーションになると思いますが、その練習の過程で競技そのものが嫌いになっては元も子もありません。その競技を楽しみ、前向きな気持ちで大人になっても親しんでいけるような、そんな活動であってほしいと思います。

☆保護者の意見（抜粋）②

11, ご意見・ご感想・困り事がありましたら、自由に記入してください。

・今は熱心な指導者の方たちがいて成り立っていると思いますが、その方たちのマンパワーに頼っている部分が大きすぎると思います。せっかく優れたアーチャーが育っているので、人や施設、試合運営などに行政の支援が必要だと思います。

・黒部市にはテニスや野球はグラウンドやコートが市内各地(各中学校にも)に整備されているが、自由にアーチェリーができるアーチェリー場が無い。
アーチェリーの認知度が上がってきていて、部員も増えて来ている。近年全国大会でも高成績を納めているので、練習場所を整備にも力強く進めて頂くことはできないのでしょうか？

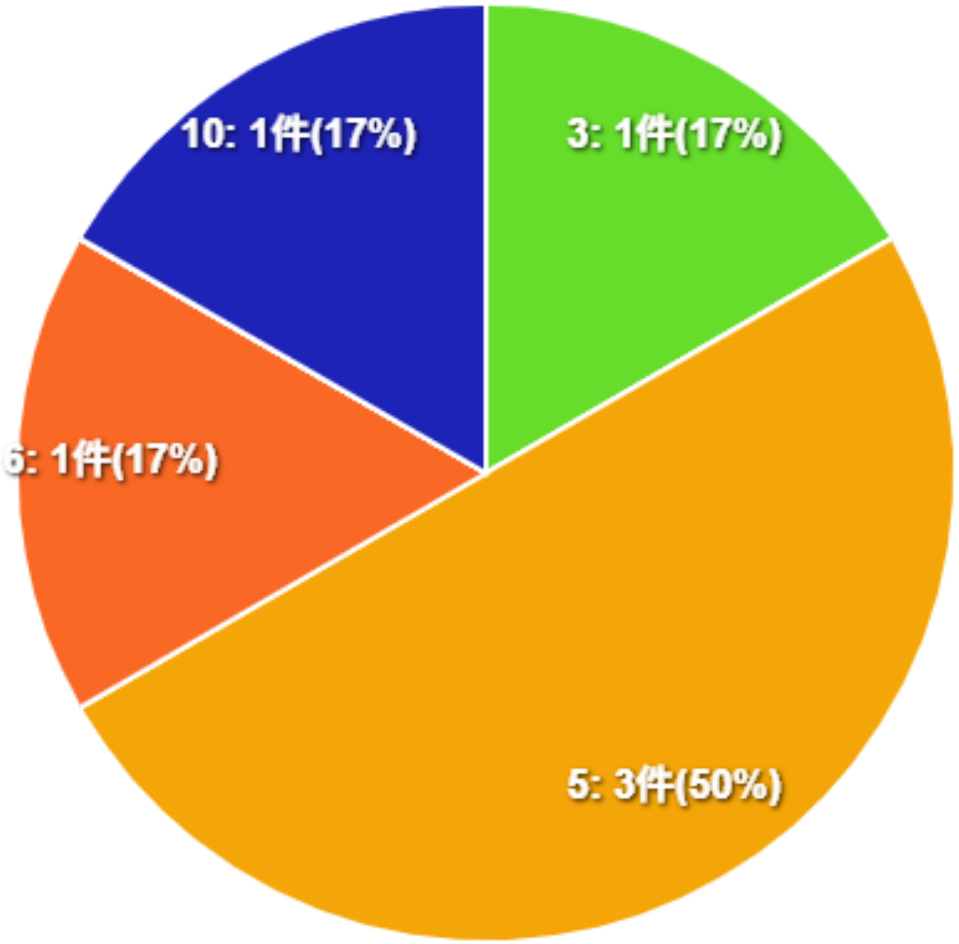
・真夏の35度超える日の屋根のない野外での活動は危険だと思うので、開始時間や、活動時間などの工夫が必要になってくると思いました。

・活動場所までは自転車も含みます。
自宅から宮野山までは結構な距離があり、熊の事もあり心配です。
移動方法に難があります考えには賛成しますが毎回、子供たちだけで現地に行くには距離があります。何か施策が必要では？自分の部活の時は自分で現場に行ってましたし保護者の送迎などありませんでした。県の大会ではないのに違う市や高岡に行ったり
保護者送迎ありきでは成り立たないのでは？行きたくてもいけない子もたくさんいると思います何かしらの施策が必要です。

・地域クラブ活動に参加する人と、クラブチームに参加する人で分散が激しくなっており、また、地域クラブ活動とクラブチームに特に連携もない。実力差は仕方ないが、一体化した連携があってほしい。

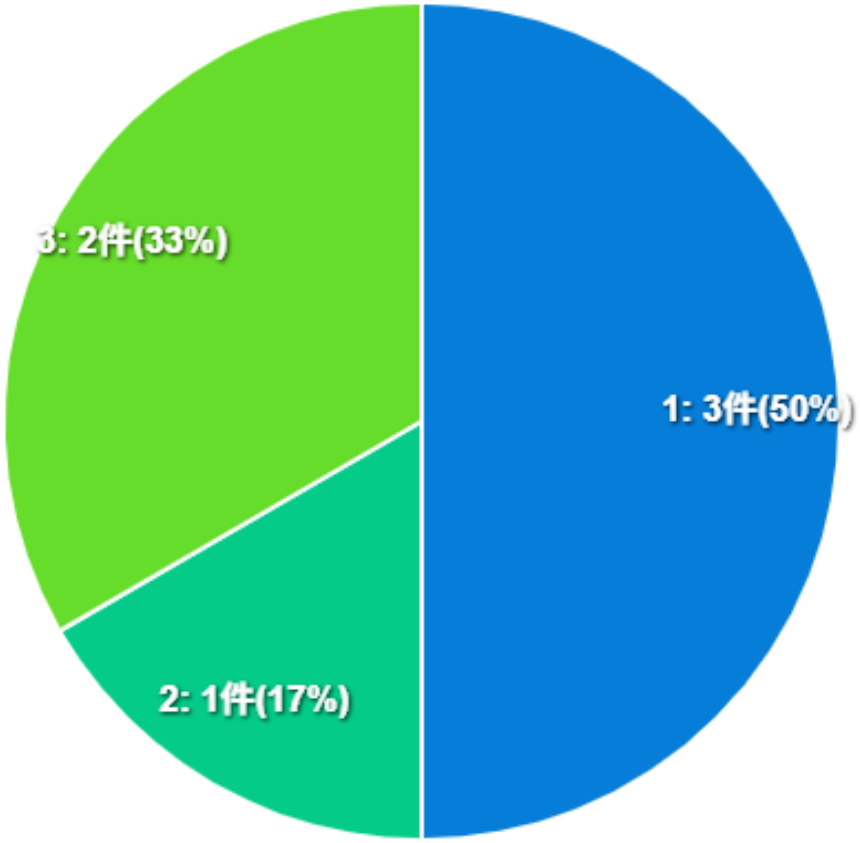
対象：黒部市地域クラブ活動指導者
回答：名
実施時期：Ｒ７年12月

1. 担当クラブ活動名



- 1. バレーボール
- 2. 男子バスケットボール
- 3. 女子バスケットボール
- 4. アーチェリー
- 5. 陸上競技
- 6. 柔道
- 7. 剣道
- 8. バドミントン
- 9. ソフトテニス
- 10. 卓球
- 11. 軟式野球

（1）現在の指導者資格について教えてください。



ＪＡＡＦ公認ジュニアコーチ
ＪＢＡ公認ーチライセンス
全日本柔道連盟公認指導者資格Ｂ指導員
公認バレーボールコーチ１
審判３級、公認スポーツ指導員コーチ１

☆指導者の感じるメリット

・専門的指導ができる

・種目毎の専任コーチにより、レベルの高い指導を行うことができる。

・高い専門的、総合的トレーニングを受ける事が出来る

・地域内の指導者と生徒が出会うことで、クラブ活動だけでなく、地域での繋がり（地域でのイベント等）ができる。また、中学生の時に指導してもらった生徒が、大人になってから地域型クラブの指導者になってくれる。
・部活動は教員が1人で持つことが多く、教員の予定に従って行うことになる。教員もやりたくても指導できない日があったり、やらなかったらやらなかったで保護者からのクレームがあったりとストレスがたまりやすいと思う。地域型は指導者が複数おり、定期的に活動することができる。
・地域型指導者の人数が多い分、技術指導担当、保健安全担当、会計担当等に分けることができ、負担が減る。
・陸上競技の特殊性として、いろいろな種目がある。その専門の指導者を集めているので、生徒は自分のやりたい種目に打ち込める。（部活動顧問は陸上競技の経験者でも違う種目は教えられないとか、まったく経験のない部活動を持たされている場合がある）

・競技を通じて地域の方々とコミュニケーションを図ることができる。学校の枠を超えて視点の違いや協調性を育むことができる。

☆指導者の感じるデメリットや改善点

・自分の意思で参加ができる分意欲向上心がないと続かないと思います。
放課後の地域クラブ場所捜し大変。指導者もそれに時間が食われる、生活が一転すると思います。

・全面となった時を考えると練習会場が不足している。

・黒部市内に２つの学校の中学生が練習する場がないので、保護者の送迎が必要である。

・部活動と違い、顧問が不在なため、学校での様子を聞くことができない。

・これから平日も指導するとなると、学校終了時に指導者が行くのは難しい。（仕事を持っている人が多いため）
・平日に地域クラブを行うとなると夜だと思うので、活動場所の安全（特に陸上競技は屋外のため）確保が大事。またデメリットとしては学校で行う部活動と違って保護者送迎になるので、参加生徒は減少すると思う。
・現在は週末の活動を行っているが、陸上競技の場合は黒部市内に全天候型の陸上競技場がなく、入善や魚津で行っている。黒部以外で行っていることが地域と言えるのか？
・冬季は室内での練習になるが、練習場所は黒部市内で確保できるのか？練習場所の割り振りは誰がどうするのか？
・生徒の抱える身体的、精神的なトラブルなど詳細な部分は週1～２回の活動では把握しきれないため、学校や家庭との関わり方を密にする必要があると感じる。知らないことでケガや精神的ダメージを与えないよう配慮したいため。

４．中学生が地域クラブ活動に取り組む姿勢や意欲はどのような様子ですか。

・来る人は真面目に取り組んでいます。参加者少ないですが。

・熱量に個人差が大きく開きがあるが、どの子供達も競技力向上を目指している。

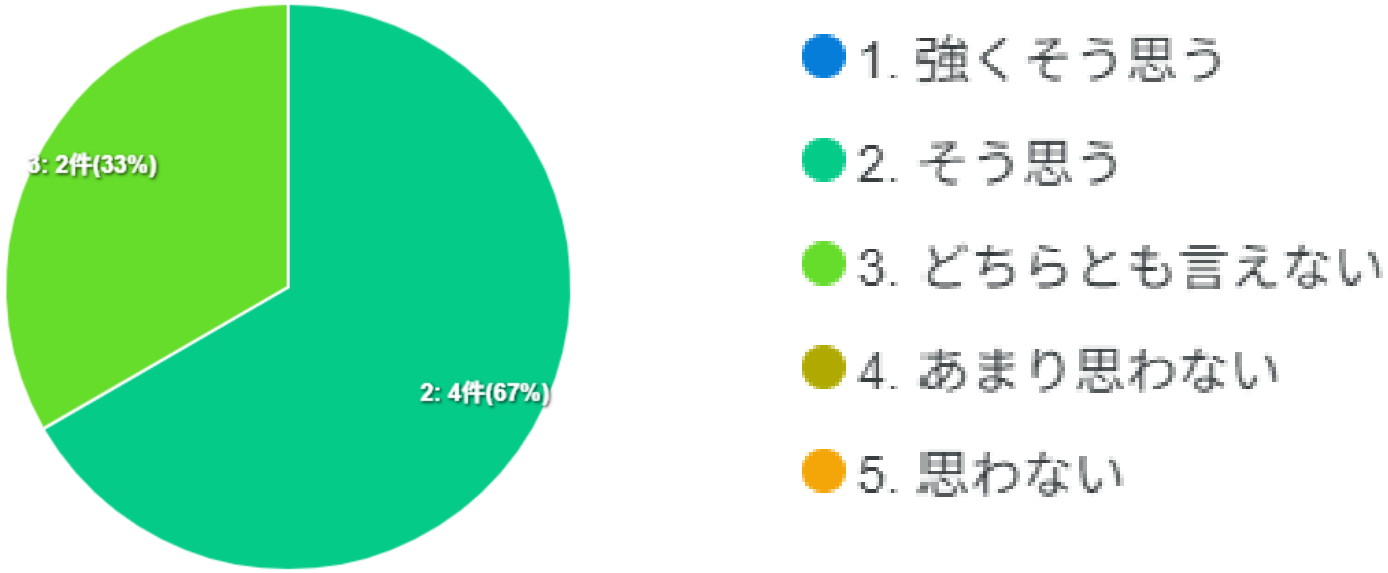
・週１の練習を楽しみに一生懸命取り組んでいる。学校での部活動は時間も指導も満たされていないので力の入り方が違う。

・競技に対する姿勢は意欲的な部分があるが、先生がいないため、態度として甘えた部分も見られる。

・一生懸命行っている。指導者が複数いるので、生徒一人一人に目が届く。また陸上競技はたくさんの種目があるが、専門の指導者がついているので、生徒は記録を伸ばそうと頑張っている。
・練習場所が市外であることにもかかわらず、保護者がよく送迎してくださっていると思う。

・各々で取り組み方は異なるが、概ね楽しそうに取り組んでいると感じる。

６．今後も継続して指導に関わりたいと思いますか？



７．現在の仕組みで、地域クラブ活動が今後も継続できると思いますか？

・厳しいと思います。

・継続は難しいと思う。

・週末はよいが、平日となると難しい。
・地域クラブも複数の指導者が協力して１つのクラブを見ないといけないので、体制作りが必要。

・補助がなくなった時の運営や指導者の実務的な負担など難しさを感じる。

８．将来、若い指導者を育てたり、引き継いだりする仕組みは整っていますか？

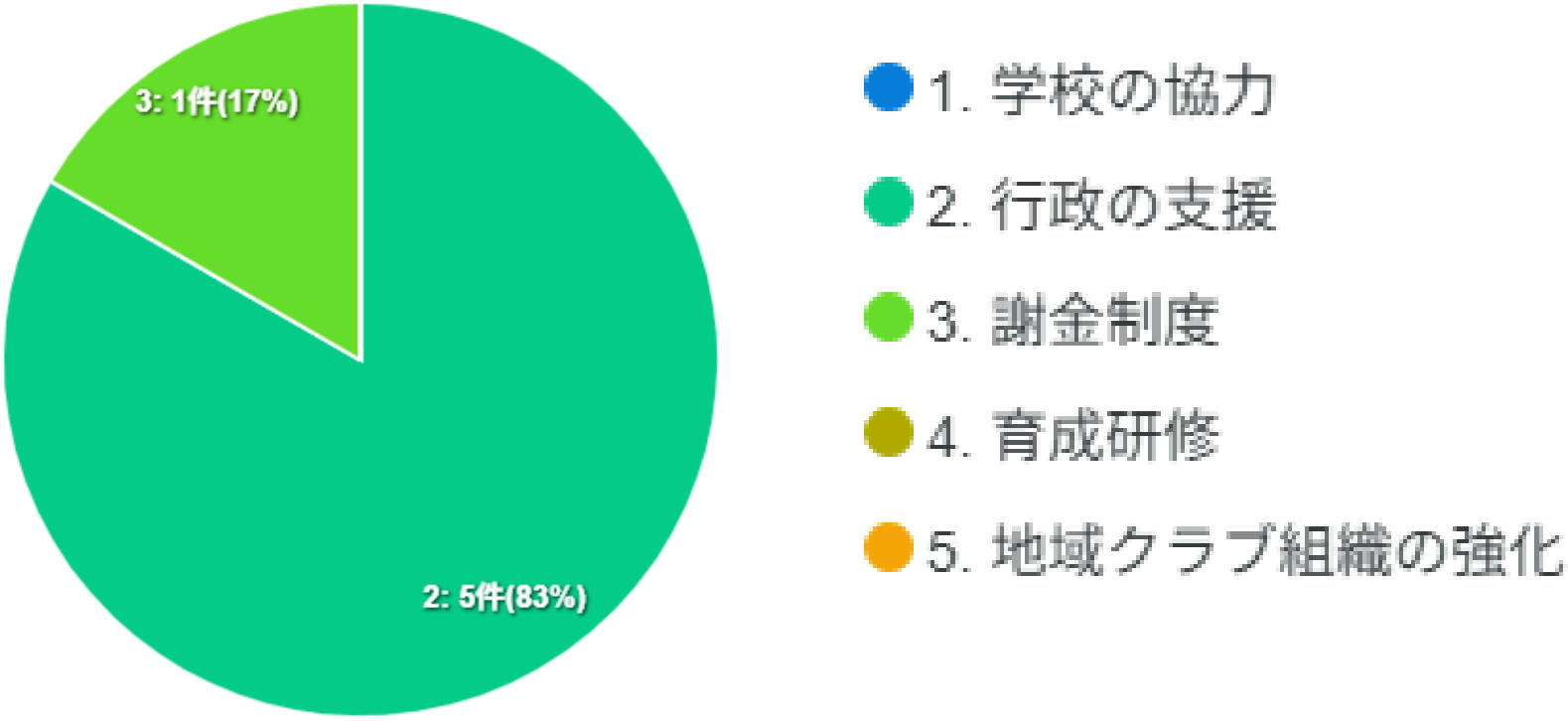
・まだです。

・整っている。

・現在、20代の指導者が何人かいる。中学校時代、私たちが教えた生徒であるが、今後もそういう子が増えてくると思う。

・まだ整っていない。

９．地域クラブ活動の持続可能性を高めるために必要なサポートは何だと思いますか？



10．そのほか、ご意見・ご感想がありましたら、自由に記入してください。

・練習する場所、環境が足りない。
全てが地域型になるとこれまでより練習場所の確保が難しくなり、結果として練習頻度を調整する必要なクラブが出てくる。特に雨、雪の場合は更に。
・また練習場所が学校から離れてしまうと送迎関連で保護者の負担が増えてしまう。
結果やりたいスポーツ、競技を、選択できない理由に繋がる。

・学校側は部活動、クラブ活動をどのように考えているのでしょうか。
基本、中学生自身の希望参加だと思うけど、体格、能力、意欲もレベル差がある。特に意欲の差はやる気と言う点で重要で学校がただどこかに所属せよと言うルールにしているなら改めて欲しい。
・地域クラブはお預かり団体ではないし、「やる気ないなら帰れ」と言う指導はできないので、参加基準も有ってよいのではないでしょうか。

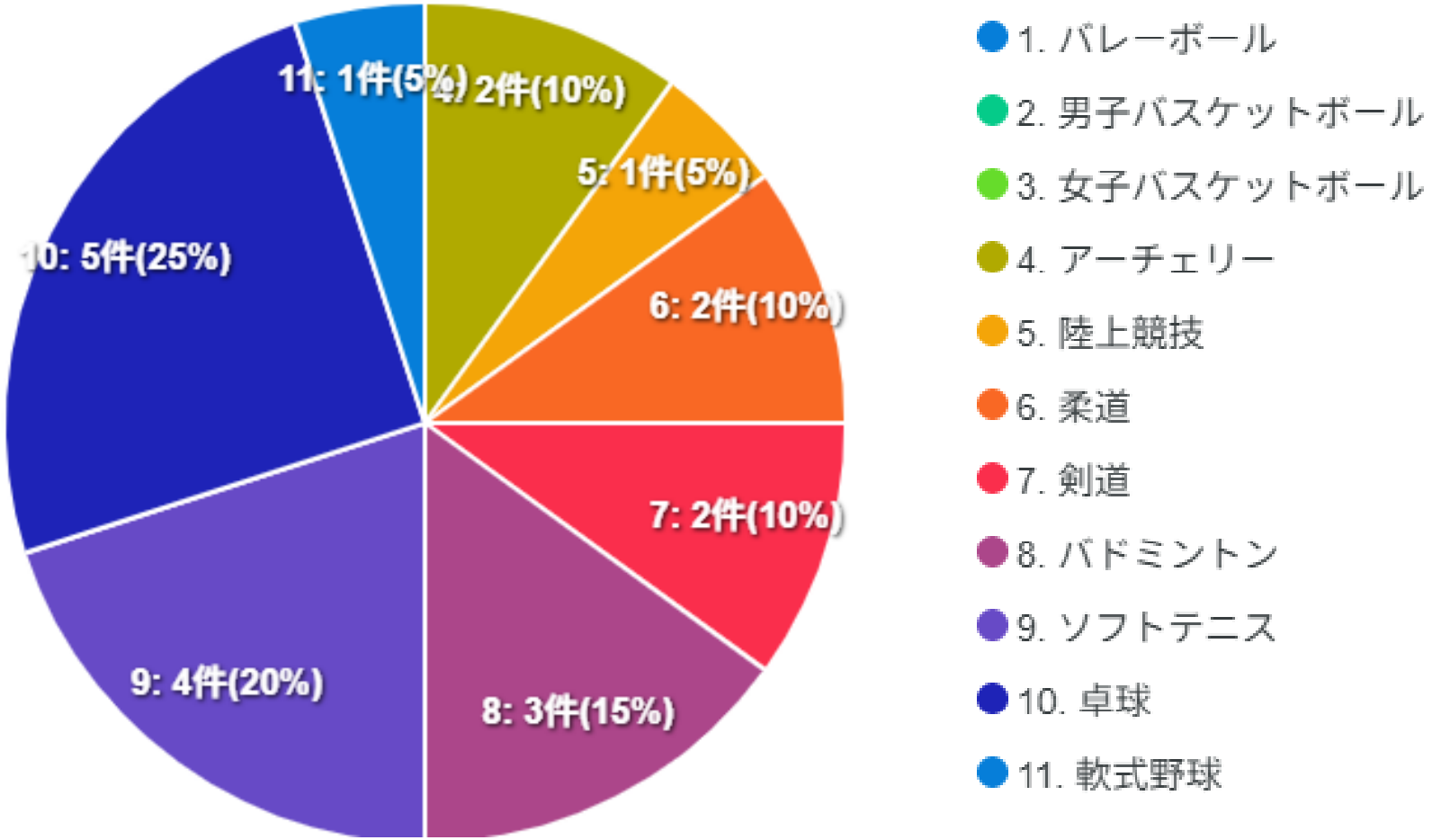
・クラブ移行に向けて課題は山積みだと思うので、協会任せではなく一体的に取り組んでほしい。

・文科省や中体連の地域型クラブへの移行についての考え方が二転三転しているので、早めに情報が欲しい。

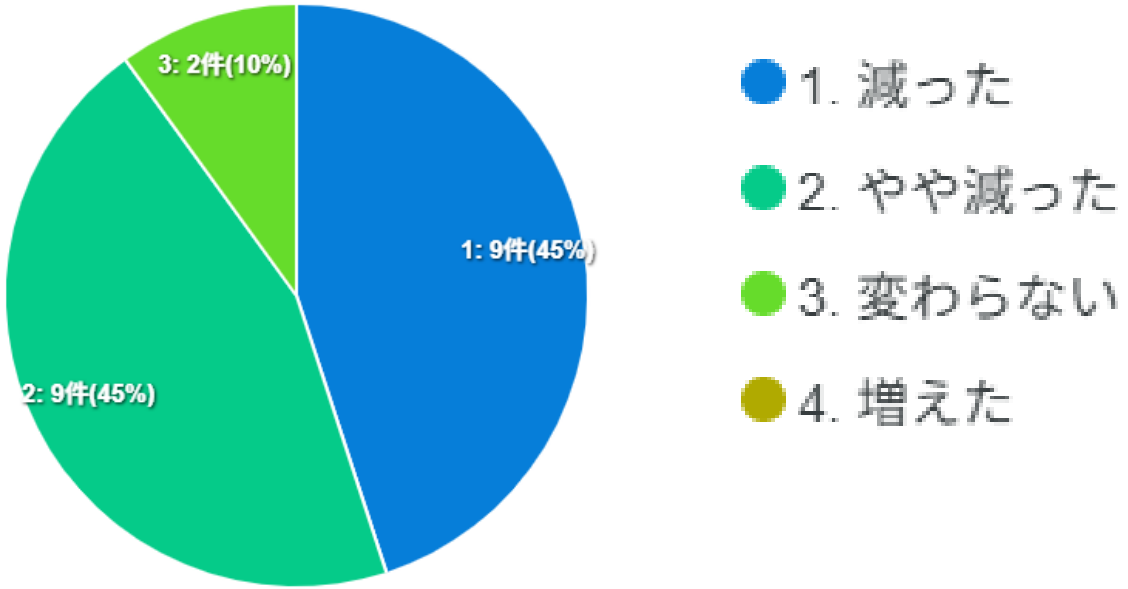
・指導者の確保と継続的な活動の仕組みを構築する上で、指導者の所属企業の協力性が必須と感じる。行政が間に入ってもらい、地域全体の方向性として理解を得たい。是非個人的な関わりにならないことを願う。

対象：黒部市地域クラブ活動対象部活動顧問教員
回答：20名
実施時期：Ｒ７年12月

1．担当部活動名



2. 地域クラブ活動の取り組みにより、部活動指導の負担感は減りましたか。



○昨年度から土日の部活動をなくし、地域クラブの方で練習が可能になったから。
○土日の部活動指導がかなりなくなった。
○地区大会、県選手大会など、中体連の公式試合以外は、ほとんど協会が申し込み、生徒、保護者への案内、当日の指導などをしてくださっている。
△指導者と生徒との板挟みになったり、学校以外のところからの連絡や依頼の橋渡し役になったりしなければならないなどのことが増えた。
△地域型部活動に関する連絡等（集金、出欠確認などで学校側がやらねばいけないこともあり、その辺りは負担を感じることもあります。
△冬場は地域型はされないとのこと。そのため、地域型がなくなったあとは練習場所の確保など、昨年度と比べると変わらない。
×地域クラブ活動に所属している生徒が少ないため。

３．顧問としての業務負担や役割は、適切な方向に変化していると感じますか？

・競技によってかなり実態が違うので、今後全ての部活動がうまくいくのか不安に感じている。

・あまり感じない。その理由として、新川地区大会等では、引率指導しなければならない上に、　会場では運営にかかわる仕事をしなければならず、１日仕事となる。
大会会場への保護者送迎が認められていないため、顧問がバスを借りるなどして引率しなければならない。
土日の部活動手当てが、最低賃金に満たない。

・まだまだ変化が足りないと感じている。本当にこのままクラブ化するのか見通しが持てない。

・毎週のように中体連以外の大会があり、申し込み、受付まで顧問の仕事です。それが大変です。

・顧問としての業務負担は、適切な方向に変化していると思うが、さらに言うならば、もっと早く完全地域移行し、平日の負担も減らして欲しい。

・チームの指導主体（監督）が学校である限り、顧問の指導時間を減じられても部活動の運営が難しくなります。学校で運営する意味である部活動による教育効果は乏しいとも感じています。土日の指導をしなくなる時点で、チーム監督は外部になるべきと考えます。

・種目によって偏りがある。

５．地域クラブ活動の取り組みにより、生徒の技術・意欲・興味・関心等の変化は感じますか。気づくことがあれば教えてください。そのほか、良かったことについても教えてください。

・地域クラブがメインと考えている生徒が多く、部活動自体への意欲は少し低いように感じる。その分、地域クラブへの意欲は高くなっている。

・一緒の部活動の仲間であるという意識はやや低くなっていると思う。地域の活動に参加している生徒の技術は高まっていると感じる。

・むしろやる気のある生徒とそうでない生徒との間で差が広がったように感じる。クラブ化した際には加入を希望しない生徒が増えそうな感覚がある。

・専門家のご指導ですから、確実に技量は上がってると思います。出席状況ややる気の把握は、顧問が協会、部活動指導員と連絡を密にすることで可能になる。現状では、丸投げ、お任せのスタンスではいけないと思う。

・練習時間の確保は出来ていますので、一定ラインの技術も確保はできていますが、指導者の方々が求めるレベルではないと思います。生徒たちは基本的には休まずに行っていますので、意欲等はあるとは思いますが、喜んで…というよりは義務感的なものを感じます。競技性もあると思いますが、実質２年くらいしかない中学生のモチベーションをどのように上げて、継続させていくかは課題だと思います。

・技術面の向上のために地域クラブ活動に所属してほしいと思っているが、生徒が入りたがらない。

・技術面を意識している生徒も多く、いい変化だと思います。

・大会クラブ活動には参加せず学校の練習だけに参加する生徒も多々います。頑張って学校外の練習にも参加する生徒は地区大会で入賞しています。

７．地域クラブ活動（地域展開）は、今後も持続可能な仕組みだと思いますか？

・平日の練習も実施する日が増えているため、持続可能であると感じている。

・指導者が見つかれば持続可能であると思う。

・思わない。むしろ、学校に残していくべきだと思う。授業の一環として、部活動を行うと良いと思う。

・地域クラブ活動１本に絞るならば、大変ありがたい取り組みであるが、部活動と並行して行っている限り、顧問の負担感はあまり変わりない。

・剣道に関しては大丈夫かと。ただし､協会の指導者が固定化しているので､若手が入るとか、人数を増やすとか対策を検討しないと持続は難しい。

・模索中かとは思いますが、持続可能な仕組みになるよう、アイデアをブラッシュアップしながら、続けていくことが大切かと思います。

・指導してくださる方々に、十分な報奨を渡せない限りは、先細りしていくと考えます。

・指導者の確保の点から難しいのではないかと思います。

・種目による

・指導者の確保の問題があるので、部活動によると思う。

・今のままでは厳しい。

・この質問の意図が読めません。「思わない」という声が多かったら、これ以上は進まない、もしくは衰退していくのでしょうか？「思いますか？」ではなく、そうする仕組みにしなければならないのではないですか？

９．地域クラブ活動の持続可能性を高めるために、学校として必要だと思う取り組みはなんですか？

・部活動紹介等での地域クラブチーム紹介の実施など地域クラブへの入り口と生徒をつなげることが必要だと感じる。

・極論を述べると、学校での部活動を一切廃止することではないでしょうか。

・地域クラブに多くの生徒が参加するよう働きかける。

・指導者を探すことに協力すること。

・地域の指導者との連携

・クラブが外部の指導者に移行できる時間まで学校で生徒を別手当で受け持つことだと思います。

・指導や大会引率は協会が担うとしても、急な連絡を生徒に周知する学校の担当者は必要なのかもしれない。

・競技にとらわれずにいろんなスポーツを体験する時間があってもいいと思う。時には地域の方(幼稚園児や年配の方など)を招いて、一緒にスポーツ(ボッチャやモルックなどのインクルーシブスポーツ)を通して関われたらよいと思う。

・連絡調整、活動場所、保管場所の提供

・部活動を行いたい生徒は全員地域クラブ活動に所属すること。

・土日の練習のあり方を、はっきりとさせる。

10．そのほか、ご意見・ご感想がありましたら、自由に記入してください。

・競技団体によって、この取り組みへの理解と熱量（黒部の子ども黒部で育てる）が大きく違うと感じてます。剣道部顧問はほぼ土日は空いてます。そうでない顧問はたくさんいます。不公平感があります。黒部市として足並みを揃える必要があります。もちろん、学校の教員も部活動指導員や協会との連絡を密にしたり、敬意をもって接したりすることもかかしてはならないと思います。

・生徒にとってよい方向になることを切に願います。

・なるべくなら早く完全地域移行し、平日の負担も減らして欲しい。

・黒部はジュニアがとても充実しているので、中学校にその受け皿がないのが残念。

・この数年間、洗い出した問題点を公表していただくか今後の方針を示して頂きたい。

・冬の練習をどうにか地域型を継続してもらいたい。今後クラブチーム化はするのでしょうか？情報がおりてこずわかりません。

対象：黒部市地域クラブ　クラブチーム指導者
回答：　５名
実施時期：Ｒ７年12月

No.	1．実際にクラブチーム化して見えてきた課題などを教えてください。	2．クラブチーム化したメリット・デメリットを教えてください。	3．そのほか、ご意見・ご感想がありましたら、自由に記入してください。
1	教員同様に指導者の確保が困難である。 地域に指導者がいるとは限らない。 指導者も日中通常業務、残業、家庭があり教員だけが特別ではない。 もっと指導手当を増やす予算をつけるべきだ。 指導には必要なライセンスがあり、資格取得や更新で費用がかかる。 又、体育館の使用など練習がしやすい環境、指導しやすい環境を整えるべきだ。 どのスポーツも同じだが、拠点に練習備品を置かせて貰えると、指導者の負担軽減になる。	まだ、ハッキリした事は言えないが、競技力の向上には、繋がると考える。 デメリットと感じる事はない。	市町村の対応、ビジョンが見えない。 対応がわからない。
2	・練習会場の確保 ・運営費、活動費の確保 ・運営スタッフの確保 ・学校との関わり方をどのように進めていくべきか等	【メリット】 手厚く専門競技の指導を受けることができていると今のところ思う。 【デメリット】 中学校から競技を始めたい子たちがいると思われるが、どのように広めていくか	
3	今のところ体育館での使用は問題無く利用されて頂いていますが今度クラブ化に伴い体育館の使用頻度が増え利用が厳しくなって行く事が心配しています。	今のところ練習することに関しては問題無く進めています。子供達も元気に練習していますので今のところ問題無く進んでます。	お願い事になりますが清明中体育館の鍵の管理を地域クラブだけでもチーム責任者管理にして頂けると嬉しいですが、
4	公共施設利用料金が掛かる。旧タカセを利用する際も基本的に清明の部活が優先扱いになり予定が組みにくい。	メリットは、地域の枠を超えて参加なのでいろんな面でアップしている。デメリットは、多様化の為、組織として保護者、コーチ役員を含めそれぞれの思いがある為、何度か炎上する事もある。金銭的では公共施設利用料金が掛かる事。	前回、会議の時にもクラブ化したら料金発生する問題は言いましたが、あれから何の進展もない。市としてはっきりして欲しい。時間もないと思います。部活をなくすなら、はっきり宣言して行動に移して欲しい。自動的に促すのを待つのでなく、はっきり示して欲しい。先に出た団体に何の補償もない。
5	現時点では以前と変わらないので特にありません。土日休日に清明中体育館も使えれば良いと思います。	以前と特に変わらないので、今後発生する問題としては指導者の謝金支払いだと思います。	部活動の地域移行クラブであれば公的なクラブとして学校やスポーツ課、学校教育課との繋がりを継続すべきと思います。お金の部分も含めて、全て受益者負担という考えをするなら、それは私的クラブだと思います。